

提案 2 【令和7年度事業計画】

(1) 会議の開催

ア 必要に応じて、理事会及び各員会等の会議等を開催する。

イ ガバナンス・コンプライアンス・広報マーケティング研修を実施する。

(2) 事業部

●国内大会委員会

(主) 伊藤 博之

委員 宮林 浩 富岡 勇人 富岡 成一 下田 博幸

・大会の開催

ア 2026 年 全日本卓球選手権大会（一般の部）第3回 予選会（肢体の部）

日 時 令和7年5月31日（土）

場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター

イ 第17回全日本パラ卓球選手権大会（肢体の部）

日 時 令和7年9月26日（金）～9月28日（日）

場 所 北区赤羽体育館

ウ 第4回ダブルス交流大会

日 時 令和7年11月8日（土）

場 所 アミティ舞洲(大阪市舞洲障がい者スポーツセンター)

エ 第45回全日本オープンパラ卓球選手権大会（肢体の部）

日 時 令和8年2月28日（土）～3月1日（日）

場 所 グリーンアリーナ神戸 （兵庫県）

オ 組合せ

申込締め切り後に、確認作業・組合せを行う。

組合せ、タイムテーブルについては、開催40日前にHP掲載に努める。

※自宅作業・パラサポでの作業を行う。

●普及委員会

(主) 伊藤 博之

委員 宮林 浩 富岡 勇人 富岡 成一 下田 博幸

J-STAR 担当

白石 三重子 大木 麻実 富岡 勇人 藤岡 明美 下田 博幸

・普及啓発活動の実施

- ・各県の障がい者スポーツ協会、行政など関係団体と連携し、依頼があった事業については、積極的に協力を行う。
- ・普及イベントの開催については、初めてパラスポーツに触れる人たちが、よりライトに取り組めるようパラ卓球の医科学サポートチーム・強化も合流し、スポーツの成功体験などを日本代表・元日本代表が丁寧にサポートを行う。
- ・J-STAR 事業の実施

ア 2025 年度あいちトップアスリートアカデミー（パラアスリート部門）

日 程 令和7年5月24日（土）

場 所 日本福祉大学 美浜キャンパス スポーツラボSALTO（愛知県）

イ 令和7年度「パラスポーツ体験会&測定会 in 札幌国際大学」の体験会

日 程 令和7年6月29日（日）

場 所 札幌国際大学（北海道）

ウ 第24回全国障害者スポーツ大会「SHIGA2025」】技術指導員への協力

日 程 令和7年10月23日（木）～10月27日（月）

場 所 野洲市総合体育館（滋賀県）

エ 第5回渋谷区長杯

日 程 令和8年2月1日（日）

場 所 渋谷区スポーツセンター

参加人数 車いす選手8名 立位選手8名（予定）

オ J-STAR 9期事業の実施

- ・8期生合同で、パラアリーナ合宿（11月もしくは12月）・地方合宿（北九州を予定）を実施し、医科学による専門基礎測定を実施

【その他】

- ・体験会・講習会を実施

●広報・マーケティング委員会

(主) 龍 信之助

委員 坂井 一也 立石イオタ良二

・渉外活動の推進

広報担当 新藤 遼介 丸山 裕理

●ガバナンス担当

委員 石堂典秀 高松政裕 宮林浩

・ガバナンスコードに沿った規程等を整備、協会運営の安定、基盤づくりを進める。

・ガバナンス研修およびインテグリティ研修の実施

●コンプライアンス委員会

(主) 高松 政裕

委員 白石 三重子 石堂 典秀 中川 義宏

(3) 強化部

●強化委員会

(主) 宮崎 義仁

委員 坂井 一也 羽生 綾子 山本 恒安 加藤 美優 津江 麻衣子

(※事務局 時耕)

ア 強化委員会の体制

ハイパフォーマスディレクター (強化責任者)	宮崎義仁
ハイパフォーマンスアシスタントディレクター	羽生綾子
ヘッドコーチ	山本恒安
ナショナルコーチ	加藤美優
情報・科学スタッフ (強化事務)	津江麻衣子
チームドクター	大野洋平 山田哲也 平賀聡哉
パラスポーツトレーナー	池田竜士
臨時コーチ	吉田信一
サポートスタッフ	森田匡則

※その他スタッフの追加の可能性あり。

今後継続的に検討を進めていく。

イ 強化合宿の開催・国際大会派遣

※ 別紙参照 提案資料1

●選考委員会

(主) 石堂 典秀

委員 大野 洋平 伊藤 博之 羽生 綾子

- ・海外派遣選手およびスタッフ等の選考基準の立案
- ・パラリンピックや世界選手権等の大会を見据え、強化方針や国内競争力等の情報を参考にしなが立案する。
- ・令和8年度監督・コーチスタッフ選考および選手選考等の会議を実施

●医科学・クラス分け・アンチドーピング委員会

(主) 大野 洋平

委員 小黒 修 大木 麻美 池田 竜士 木ノ瀬 翔太 木勢 峰之
山田 哲也 平賀 聡哉 鈴木 聖一 北山 善之

ア 一般会員対象の事業

- ・国内クラス分け
継続して実施し、スタッフのクラス分けについての教育活動を行う。
(国際クラス分けセミナーへの参加支援を含む)。
- ・トレーニング指導
障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導
- ・大会救護
多職種で連携し選手・参加者の救護活動
- ・J-STAR 関連
発掘イベントなどに積極的に参加し支援を行う。
- ・アンチ・ドーピング
会員へ啓蒙活動を行い、ドーピング検査への対応を行う。

イ 海外派遣選手およびスタッフ対象の事業

- ・健康管理：メディカルチェック、個別指導、合宿などでの講義、必要に応じ専門科への受診などを促す。
- ・トレーニング指導
障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導
- ・アンチ・ドーピング
講義などの教育活動、個別相談、TUE 申請、RTPA 対象選手のサポート、ドーピング検査への対応
- ・国際クラス分け
強化スタッフへ選手の障害特性やクラス分けについて講義・解説を行う。海外派遣

選手およびスタッフへ国際クラス分け対象選手のサポート（診断書作成、強化スタッフとの連携など）

- ・国際大会（日本開催大会）
救護、コンディショニングブース、クラス分けセミナーのアテンドなどの業務
- ・国際大会帯同
強化と連携し選手強化につながる支援

ウ 学会発表支援・資格取得支援

- ・他競技から障がい者スポーツにおける医科学に関する知識を吸収し、肢体不自由者卓球についての学術的知見を報告するため、日本パラスポーツ学会等に参加し可能な限り発表を行う。
- ・パラスポーツ医・トレーナー・コーチ、国際クラシファイアなどの資格取得の支援

エ 取材・メディア対応

- ・パラ卓球の啓蒙のため、メディアなどへの取材や協会の発信活動に協力する。

●アスリート委員会

担当 高松 政裕 石堂 典秀

(他)

【協働チーム】課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム公募について、検討している。

- ＊ 「TALENT PATH（タレント・パス）プロジェクト ～発掘後から育成に繋ぐ地域プロジェクト～」
- ＊ 地域の育成環境を充実させることで効果的に育成が図れるよう、地域において当該競技を継続的に実施している将来有望なアスリート層を対象として、地域資源を活用した育成プログラムを実施
- ＊ NF自身が課題抽出、計画、実施、検証評価による改善点の抽出、改善点の計画への反映といったサイクルを継続的に実践しながら、アスリートの育成・強化を実施できる持続可能な仕組みを確立し、競技におけるパスウェイモデルとも連動しながら、アスリート育成パスウェイを整備